



たぎのもり

御影堂新たな全容を現す

この度、一九九九年（平成十一）年三月より御影堂を覆っていた素屋根の撤去作業が完了し、新しい瓦に葺き替えられ、ひとさわ荘厳さをまじした御影堂が八年ぶりにその全容を現した。

素屋根撤去により五年後に修行される親鸞聖人七百五十回大遠忌法要がより待ち遠しいものとなった。この素屋根は瓦の葺き替えに伴い、

御影堂全体を覆うものであるが、御影堂の周囲には書院など重要な建築物があることや文化財などの埋蔵が予測されることから、御影堂正面側に二十四本の巨大な支柱で素屋根を支える片持ち梁形式（片方の柱で素屋根全体を支える）という特殊な工法で建設されていた。昨年一月より撤去作業が進められていたが、この度完了した。

引き続き、御影堂内外の工事や境内の復元工事などが二〇〇八（平成二十）年まで行われる。親鸞聖人七百五十回大遠忌宗門長期振興計画推進懇志においては、総額二百六十億円内十二月三日現在八十一億八千二百八

発行 和歌山教区基幹運動推進委員会
編集 教区報編集委員会
和歌山市鷺森1番地
鷺森別院内
電話 和歌山(073)422-4677
FAX 和歌山(073)428-2450
発行人 水上義乗

十九万三千八百八十六円（三二・四％）で、教区においては、一般寺院懇志依頼総額四億五千五百八十九万六千三百六十六円の内一億五千六百二十二万六千三百六十八円（三三・二％）が収められている。

なお、この収支計画は、二〇〇五（平成十七）年八月一日から二〇〇七（平成十九）年三月三十一日までとなっているが、法要諸事業を円滑に推進する上から勸励期間が設けられており、二〇〇五（平成十七）年八月一日より開始した第一次勸励期間の締切が二〇〇七（平成十九）年三月三十一日までと間近に迫っている。

以後勸励期間については、第二次勸励期間

二〇〇七（平成十九）年
四月一日から

二〇〇九（平成二十一）年
三月三十一日まで。

第三次勸励期間は
二〇〇九（平成二十一）年

四月一日から

二〇一一（平成二十三）年
三月三十一日まで
となっている。

鷺森テレホン

紙 上 法 話

水上 義乗

(和歌山教区 教務所長)

新年明けましておめでとうございませう。

二十一世紀に入れば、誰もが輝かしい世紀となると期待しておりますが、現実には、親が子を殺めたり、子が親を殺めるなど本当に考えられないような事件が多発し、また世界中の人々が憎しみあい、互いに血で血を洗うがごとき事件が起きた一年でありました。本当に今年こそは平和な一年でありますように

と願うばかりであります。しかしながら、現実社会は、自分が全て正しくて他人は間違っている。また、自分の利益のためならば、人を押しつけてもかまわない。今自分が楽しければ他人はどうなっているかまわれない。などという主張が大勢を占めていると考えざるを得ないのではないでし

「省みない私」

ようか。

これは決して他人のことではなく、まさしく私自身のことであると聞かせていただくことであります。

私の好きな「金子みすゞ」さんの詩に「大漁」という詩があります。

朝焼 小焼だ 大漁だ
大羽鱈の 大漁だ
浜はまつりの
ようだけど
海の中では何万の
鱈の とむらい
するだろう

見る視点が違えば、祭りにもなるし、葬儀にもなると、穏やかにも思える言葉の中に、厳しい指摘をされています。

他のものを省みないこの姿、他のものの「いち」をも省みない姿、まさしく、わたしの実相でありました。

とりえとて ひとつ
もなきに ひたかくし
おごり たかぶる
こころすてえず

新年にあたり、花岡大学氏の「偽装の舞台」と言うこの詩を、皆様にご披露させていただき、共に味わいさせていただきます。

鷺森テレホン 法 話

24時間いつでもどこからでも3分間法話が聞けます。

(法話は毎月一日・十五日に変わります)

073-422-0243

おにしさん

基幹運動のページ

今回は先般開催された組基幹運動推進関係者協議会と仏教壮年会活性化に関する協議会について報告することにした。

組基幹運動推進関係者協議会

教区基幹運動推進委員会(以下教区基推)は、九月二十八日、組僧侶研修会(以下組僧研)を中心に組の現状について意見交換を目的に組基幹運動推進関係者協議会を開催した。

協議会では、組僧研の現状について話し合いを行い「参加者固定化の問題」「現在、寺院を取り巻く状況は複雑になってきており、そのことを認識している僧侶が多いが、目をそらしている。」「僧侶の体質改善に向けての取り組みがなされていない。」などの意見が出された。

これらの意見を受けて、教区基推では、僧侶一人ひとりの運動のあり方を問われている事を鑑み、組僧研に重点をおいていく試みをする事になった。そのために今後、まず組基推スタッフと若手僧侶の育成を目標に研修会を重ね組僧研の充実に繋がる運動を勧めていく方針である。

仏教壮年会活動活性化に関する協議会

教区仏教壮年会連盟では、十月二十三日に仏教壮年会(以下仏壮)活動活性化に関する協議会を中川真昭師の出講のもと開催した。

仏壮は、「仏教壮年の結集に関する宗則」に基づいての組織で、宗門の基幹運動の中核となるべきものと位置づけられている。宗派における壮年層への期待は大きく、会議体から連盟体への移行を視野に入れ、仏壮活動の活性化が叫ばれている。この協議会は、今後の仏壮活動の方向性について意見交換するために設けられた。

協議会では専ら「何故、今、連盟化か」が焦点となった。「和歌山教区では、連盟化は活性化につながらない。別次元で取り扱わないと混乱を招くおそれがある。」「会費面において、単位寺院、会員のこれ以上の負担にならないように考慮いただきたい。」という意見を講師に持ち帰ってもらった。今後、教区仏壮並びに教区基推では教区事情に即応した仏壮活動のあり方を検討し行くことになっている。

待望の新装版

浄土真宗の葬儀・仏壇・納骨ガイド

阿弥陀さまと私 平成19年3月発行 決定

「阿弥陀さまと私」の反響を受けて、新装改訂版を発行。寺院・僧侶から寄せられる要望とデータ等をさらに具現化紙面を拡大し内容を充実した教化パンフレット



A4版四折り8頁



イラスト・写真にて分かりやすく解説コンパクトにまとめられた決定版



ありそうでなかったイラスト表示



初版 予約受付中

部数に限りがございますので早めに。

予約 特別価格 一部 **100** 円

お申し込みは、和歌山教区教務所まで
TEL 073(422)4677

若い僧侶のための「阿弥陀さまと私」内容の解説書を作成中

*****教区だより*****

10月

- 3日 近同推寺婦研修会 (京都/4日まで)
- 4日 基推委企画常任委員会
- 5日 仏婦世界大会写真交換会
- 5日 教区相談員協議会 (本山)
- 6日 寺青連盟例会
- 7日 勤式講習会 (鷺森別院)
- 11日 少年教化アドバイザー研修会(本山/13日まで)
- 14日 門徒総代会モデル事業 (有田南組善照寺)
- 17日 少年連盟委員会
- 18日 ビハーラ潮光園訪問
- 21日 中央仏青研修会 (本山/22日まで)
- 21日 勤式講習会 (日高別院)
- 23日 仏壮研修協議会
- 24日 近畿ブロック寺婦研修会事前準備
- 24日 県仏教会理事会
- 25日 県青年僧の会ソフトボール
- 28日 近畿ブロック保育大学講座(和歌山/29日まで)
- 30日 近畿ブロック寺婦研修会前日準備
- 31日 近畿ブロック寺婦研修会 (和歌山)

11月

- 2日 ビハーラ委員会
- 2日 社推協ビハーラ合同協議会
- 4日 勤式講習会 (鷺森別院)
- 7日 葬儀冊子委員会
- 8日 布教団役員会
- 10日 教区報編集委員会
- 10日 中央基推委常任委員会
- 10日 中央若婦人研修会 (本山/12日まで)
- 13日 基推委企画常任委員会
- 13日 遺骨調査事前協議会
- 14日 第54回近畿教誨師研修会 (大阪)
- 14日 近同推研修部・広報部・常任委員会 (京都)
- 15日 仏婦別院清掃
- 18日 勤式講習会 (日高別院)
- 21日 仏婦若婦人研修会
- 24日 寺婦連盟報恩講研修会
- 25日 門徒総代会報恩講研修会
- 26日 仏壮連盟報恩講研修会
- 27日 仏婦連盟報恩講研修会
- 27日 社推協チャリティーバザー
- 30日 教区相談員研修会 (本山/12月1日まで)

12月

- 1日 歳末助け合い街頭募金
- 2日 勤式講習会 (鷺森別院)
- 4日 教区報編集委員会
- 6日 中央基推委研修会 (本山/8日まで)
- 7日 教務所長会
- 9日 子どもの報恩講
- 11日 寺婦役員会
- 11日 教区報レイアウト委員会
- 14日 基推委第一部会
- 14日 企画常任委員会
- 15日 仏青役員会
- 16日 責任役員・門徒総代辞令伝達式
- 16日 勤式講習会 (日高別院)
- 16日 仏壮理事会
- 20日 葬儀冊子委員会
- 21日 組長会
- 22日 寺青例会
- 27日 仏青委員会
- 28日 教務所冬期休暇 (1月8日まで)

1月

- 9日 教務所仕事始め
- 23日 迦陵頻伽さぎのもり15周年記念コンサート
- 27日 第3連区門推協研修協議会 (兵庫/28日まで)

2月

- 3日 社推協ビハーラ合同公開講座
- 3日 勤式講習会 (鷺森別院)
- 5日 近同推会員研修会 (和歌山)
- 7日 如月忌 (本山)
- 8日 大阪矯正教化連盟大阪管区支部研修会 (兵庫)
- 8日 人権啓発研究集会 (白浜/9日)
- 14日 近畿ブロック青年布教使研修会 (京都/15日まで)
- 17日 勤式講習会 (日高別院)
- 17日 近畿ブロック仏青研修会 (和歌山)

3月

- 3日 勤式講習会 (鷺森別院)
- 8日 門徒総代会・仏婦念仏奉仕団 (本山/9日まで)
- 10日 近畿ブロック仏壮研修会 (大阪/11日まで)
- 17日 勤式講習会 (日高別院)
- 23日 門徒総代会研修旅行 (京都)
- 30日 第3連区ビハーラ研修会 (大阪)

別院だより

鷺森別院

【常例法座】毎月十五・十六日 午後一時半より

一月 高澤正文師(奈良教区)

二月 伊藤智誠師(奈良教区)

三月 奥野覚暢師(富山教区)

四月 幡多哲也師(兵庫教区)

【春季彼岸会】

三月二十〜二十二日 午後一時半より

小椋弘誓師(滋賀教区)

日高別院

【常例法座】二十日 午後一時半より

一月 高澤正文師(奈良教区)

四月 幡多哲也師(兵庫教区)

【春季彼岸会】日高郡・

御坊市戦傷病没者追悼法要

三月二十日 午後一時半より

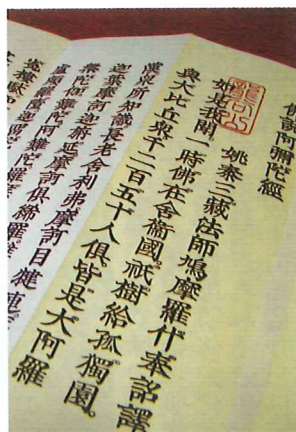
桐山六字師(日高別院輪番)

お知らせ

十二月下旬から四月初旬まで鷺森幼稚園が改修工事を行います。工事期間中は駐車場等に制限がございますので、市営駐車場(城北・本町)等をご利用ください。ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

お寺の雑学

文字の権威「奉詔詔」



浄土三部経の内『阿弥陀経』だが、翻訳者鳩摩羅什の名の下に「奉詔詔」と表記されています。皇帝の命令をうけて訳出したとい

うことを意味します。

彼は、西域クツチャ（亀茲国）

出身で後涼に滞在、五十八歳の時

後秦の皇帝姚興に国師として長安

に迎えられ、訳場をあたえられ十

二年訳業に従事、七十歳で生涯を

閉じました。長安での事業は、まさに「奉詔」であったといえます。

ところで、すべて経典の訳出は、

当時のその地域の国の首都で、行

われていたと言っているように

す。漢・魏・晋の洛陽、呉の建業、

東晋の建康、前後秦の長安、北涼

の姑臧は、いずれも帝がいた首都

であり、著名な経典が多数訳出された場所でもあります。

経典に限らず、おおよそ新しい

書物の発行は、宮廷の許可もしくは

は依頼がないとできなかったと言

うことです。新しい言葉を生み出

す作業でもある新作の発表は、皇

帝の名のもとに行われることであ

りました。

始皇帝の焚書も勝手に書物を発

行して権威を傷つけられた怒りか

らの行状であったといわれています。

つまり、経典は「奉詔詔」と表

記されていなくても、皇帝の命令

を受けたという形式でないと翻訳

されることはなかったと言えます。

気になる一冊

ブツダをめぐる人びと
里中満智子著 佼成出版社 1,500円



少女漫画界の大御所である里中満智子さんがお釈迦さまをめぐる人々二十六人の物語をそれぞれ一話完結のマンガで美しく描き、それが一冊の本となりました。

登場人物は、『無量寿経』『阿弥

陀経』でお馴染みの阿難や舍利弗

といったお釈迦さまのお弟子た

ち、『観無量寿経』で説かれる王

舎城の悲劇の主要人物である頻婆

娑羅王や阿闍世太子、愛児を失い

絶望のどん底からお釈迦さまに救

いを求めるキサー・ゴータミーな

ど、私たちもよく知る人々ばかり。

これらの人々とお釈迦さまとの触れ合いを通して、あらためて仏

教本来の教えは難解なものではなく、誰にでも理解できる親しみやすいものであったのだと思いを新たにしました。

仏教にあまり関心のない若い世

代の方々には是非おすすめしたい一

冊です。里中さん描くところのお

釈迦さまは従来描かれていたイメージを払拭し、とてもクールで、

格好いいですよ。

本願寺 定期刊行物のご案内

本願寺新報

月刊 一回発行 一部 一、二〇〇円
年間購読料 四、〇八〇円

大乘

月刊 一部 三、七五〇円
年間購読料 四、五〇〇円

季刊せいてん

年四回発行 一部 七〇〇円
年間購読料 二、八〇〇円

季刊せいてん

年二回刊 一部 一、〇〇〇円
年間購読料 二、〇〇〇円

大乘

月刊 一部 三、二五〇円
年間購読料 三、五七五円

ご注文・お問い合わせは
本願寺出版社へ

注文専用フリーダイヤル
0120-464-583
月曜～金曜（9時～17時）
土日祝休み

〒600-8501 京都市下京
区堀川通花屋町下ル
TEL075-371-4171
FAX075-341-7753
http://www2.hongwanji.
or.jp/shuppan/

教化団体のページ

第4回 門徒総代会紹介

当会は、寺院振興機能を図る上から、各寺院の門徒総代自らが閫法に励み、相互の親睦提携を密にし、伝道に協力する態勢を整えるとともに、寺門の護持発展に寄与することを目的とし活動を行っています。



主な事業としては、鷲森別院二尊会・報恩講参拝研修をはじめ年三回の研修会。今年度で十六回目となる念仏奉仕団。平成十二年度からはモデル事業として、毎年各組持ち回りで、各組役員が担当組を訪れ、担当組の地理的環境や今抱えている問題などについて意見交換を行い、今後の活動に生かしている。

また、今年度から新たな取り組みとして、年三回の研修会の内、一回を研修旅行とし、京都などの聖人ご旧跡参拝を実施します。五年後に修行される親鸞聖人七百五十回大遠忌法要円成に向け、聖人のご遺徳を偲び、門徒総代として取り組みを進めていきます。



事業内容

- ◇二尊会参拝総会研修会
- ◇報恩講参拝研修会
- ◇モデル事業
- ◇念仏奉仕団
- ◇研修旅行

会長に聞く



和歌山教区和歌山組西法寺
門徒総代
児玉 順彦さん

和歌山組門徒総代会会長を約十年程されている。教区では門徒総代会副会長を経験され、今年度より和歌山教区門徒総代会会長に就任された。また、基幹運動推進委員会第三専門部会員でもある。

今年度より現地研修として研修旅行を行うことになった。

この研修旅行は、五年後に勤修される親鸞聖人七百五十回大遠忌法要に向け、聖人のご遺徳を偲び、研鑽を深めるため開催される。

法要までに京都等の各地の御旧跡を訪ねる予定で、最終的には、大遠忌法要に参拝するという計画だ。

尚、第一回である今年度の研修旅行は、三月二十三日に予定されている。この日程になった理由は、実に和歌山らしい。より多くの参加を呼びかけるために、みかん農家の収穫時期に配慮されての事。

教区門徒総代会念仏奉仕団は昨年度に十五回表彰を受けている。児玉さん自身、今年度で十回目となり、その表彰が楽しみだという。気になる事は、と聞くと「最近の若い人は食事の時、学校でも頂きます・ご馳走様を言わない。子ども達は感謝の気持ちを無くしている。」そして「核家族が進み、家にお仏壇が無かったりして、子どもが仏事にふれる機会がない。また、家族全員揃って仏事に参加することが少なくなつて、お念仏の声も家から無くなりつつある。そう言ったことから仏法に遇う数少ない機会である法事、その後の法話は大切だ。私はできる限り子や孫に法事にお参りするよう呼びかけている。お念仏を申して感謝の気持ち忘れなければ今、社会問題となっている自殺やいじめも無くしていけるのでは」と語った。

お寺に対しては、「皆が参拝できる主な行事が、永代経や報恩講ぐらい。もっと参拝できる機会を増やして欲しい」と希望を述べた。今後の抱負を「良い活動をして、よりお念仏の声を広めていきたい」と笑顔で語ってくれた。

子どもの報恩講開催される 書道展などの表彰も同じ日に

十回子ども書道展・第七回子ども絵画展の表彰式、日曜学校修了証授与式が鷺森別院において執り行われた。
教区内各地から六十七人の仏の子どもが参加し、昼食にカレーをしつかり食べて、元気にゲームをしたり、集中して黙々とお念珠をつくったりと楽しい一日をすごした。



去る十二月九日、第十八回子ども集いの「子どもの報恩講」が開催されるとともに、第十

門徒総代会モデル事業 有田南組で開催

去る十月十四日に有田南組において、今年度門徒総代会モデル事業が開催され、有田南組の門徒総代をはじめ各組より役員など五十人が参加した。
研修会では「浄土真宗の生活信条」と題し、水上義乗和歌山教区教務所長が、お念仏に生

かされた近江商人の話を通し、ご法話が行われた。引き続き、話し合い法座が持たれ、普段から抱える悩みや疑問などについて活発な意見交換が行われた。
また、今回有田南組では、モデル事業の開催に当たり、事前に二度の研修会を開催し、全国門徒総代会がモデル事業実施要綱で推進する話し合い法座を取り入れ、研鑽を深めあった。

二〇〇六年度 近畿ブロック寺族婦人研修会

二〇〇六年度近畿ブロック寺族婦人研修会が和歌山教区担当にて十月三十一日、鷺森別院本堂で三百七十人の参加のもと開催された。
テーマは、「ともにいのちかがやく、世界へ」。

講師は龍谷大学名誉教授岡亮二先生。「親鸞聖人の念仏の道」と題し、現



若婦人聞法の集い 若婦人研修会

去る、十一月二十一日、教区仏婦連盟若婦人研修会（五十才未満の若婦人を対象）を開催。参加者は各組より百二十人。講師に仏婦連盟講師の嘉屋英嗣先生（山口教区）を招き、講題を「よろこび ー伝えよう わたしからあなたへー」という講題のもと、昨今社会問題となっているいじめ・自殺・虐待などについて、「慶喜」の言葉を通して参加者の心に響くお話しをいただいた。
また、十一月十一・十二日にかけて本山で開催された中央若婦人研修会に参加した加茂組願称寺会員堀田玲子さんが、中央研修会の様子を報告し、皆さんに参加の呼びかけを行った。

代に生きる者にとつての、み教えの捉え方、そして、寺族のあり方について貴重な提言をいただいた。
続いて、ハーブ奏者のグループ・サカグチさんの演奏があった。
この研修会の目的である、「近畿六教区で共有した内容の研修を行う」にふさわしい会となった。
来年度は兵庫教区担当にて開催される。

社推協チャリティーバザー 街頭募金を開催 多くの善意が寄せられる



社会福祉推進協議会和歌山教区支部では、十一月二十七日の鷺森別院報恩講に併せチャリティーバザーを開催した。今回は、例年以上に出品の協力も得られ大いに賑わった。二十万八千四百六円の売上げがあり、敬老の日のお祝い等の事業に役立つ。

また、十二月一日には、教区内門信徒・僧侶ら四十八人が参加し、第十六回歳末助け合い街頭募金が行われた。JR和歌山駅、南海和歌山市駅で実施され、十三万五千八百六円が集まった。この募金は「読売光と愛の事業団」に全額依託され、社会福祉活動に役立てられる。
なお、この活動にご賛同とご協力いただきました皆様には、厚く感謝申し上げます。

如月忌のご案内

今年も二月七日に仏教婦人会の礎を築いた九條武子様の如月忌が左記の通り勤修されますので、お誘い合わせの上ご参拝ください。

- 期日 二月七日(水)
- 会場 本願寺総御堂
- 日程
 - 受付 十三時
 - 讃歌指導 十四時
 - 法要 十四時十五分
 - 記念講演 十四時五十分
 - 接待 十五時三十分
 - 終了 十六時三十分

第一回門徒総代会 研修旅行のお知らせ

この度、門徒総代会では、三月二十三日(金)に親鸞聖人のご遺徳を偲ぶと共に、聖人が生きぬかれたお念仏の道を研鑽すべく、聖人のご旧跡を参拝する研修旅行を実施することとなりました。

今回は日野誕生院や聖人がお度度された青蓮院、またご修行された比叡山などを訪れる予定です。五年後に控えた親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の参拝に向け、

と一緒に聖人の足跡を探訪してみませんか。詳細につきましては、後日ご案内いたします。

社推協・ビハラー 合同公開講座のご案内



この度、社会福祉推進協議会和歌山教区支部とビハラー和歌山では、二月三日(土)午後二時から鷺森別院本堂にて合同で公開講座を開催します。

講師は自宅でチンパンジーを育てたことで知られる元神戸王子動物園の飼育技師・学芸員である亀井一成さん。

「動物園は心の学校―動物家族はね―」と題し、長年の動物園での飼育経験で動物たちから教わった「いのちの尊さ」や「助け合うことの大切さ」を通し、現代社会が抱える「いのち差別 いじめ」の問題について講演される。入場は無料。どなたでもご参加いただけます。

門総・仏婦 念仏奉仕団参加者を募集

毎年恒例の門徒総代会と仏教婦人会による念仏奉仕団が三月八日(木)〜九日(金)に一泊二日の日程で実施されます。

なお、募集要項については、各組役員に送付しておりますので、ご参加のほどよろしくお願ひ申しあげます。

迦陵頻伽さぎものり 結成十五周年 記念コンサートのご案内

寺族婦人合唱団「迦陵頻伽さぎものり」が、この度結成十五周年を迎え、来る一月二十三日(火)午後一時から四時まで、鷺森別院本堂で記念コンサートを開催します。

この合唱団は平成二三年に、紀南組勝徳寺住職神谷慧先生のご指導のもとと教区内寺族婦人十七人で結成さ



れ、各教化団体の記念式典や様々な音楽法要に出勤。毎年本山の御堂演奏会にも参加し仏教讃歌を披露しています。

平成七年からは指導者が加茂組光輪寺住職小島義英先生に引き継がれ現在は三十五人の会員が在籍しています。

今回の記念コンサートでは、活動を通し交流を深めた県内外の合唱団の友情出演もあり、この機会に一度、仏教讃歌に触れてみてはいかがでしょうか。

入場は無料、どなたでもご参りください。

得度

- 今本 弥重子 和歌山東組 善教寺
- 今本 洋郁 和歌山東組 善教寺
- 今本 隆章 和歌山東組 善教寺
- 井邊 真崇 和歌山東組 勝安寺
- 白樫 由理 和歌山北組 深崇寺

逝去

- 榎 正晋 御坊組 明應寺
- 住職 平成十八年十月十八日
- 岩橋 晃隆 紀南組 金徳寺
- 住職 平成十八年十月三十一日

- 山高 英弘 伊那組 玉川寺
- 住職 平成十八年十二月六日

ご生前のご活躍、ご尽力に感謝申しあげ、謹んで敬申の意を表します。